

令和 年度 技術士第二次試験答案用紙

| | | | | | | | | | |
|------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 受験番号 | | | | | | | | | |
|------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|

| | | |
|---------|--|----|
| 技術部門 | | 部門 |
| 選択科目 | | |
| 専門とする事項 | | |

●受験番号、技術部門、選択科目、専門とする事項及び問題番号の欄は必ず記入すること。

| | |
|------|------------|
| 問題番号 | Ⅱ-2-地域公共交通 |
|------|------------|

← 解答する問題番号（1又は2）を点線の枠内に必ず記入すること。
○解答欄の記入は、1マスにつき1文字とすること。なお、英字・数字は1マスに2文字を目安とする。

| | | | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 1. 調査、検討すべき事項とその内容 | | | | | | | | | |
| (1) 地域の現状調査 | | | | | | | | | |
| サウンディング対象地の周辺状況を調査する。調査にあたっては①、人口の集積状況や世代構成から市場性を把握する②。また、公共交通ネットワークから対象地までの移動手段や運行回数等の輸送力を把握③する。これらを取りまとめ、サウンディング対象に関連する解決すべき課題の明確化を図る。 | | | | | | | | | |

- ① ここでいう調査は、サウンディング調査ですか、または前述の周辺状況庁舎ですか。明確にするとともに、後者である場合は、不要です。
- ② 問題には、サウンディング調査の目的を市場性の有無を確認するためとあります。市場性は、事業者を確認する事項ではありませんか。
- ③ なぜ、輸送力なのでしょう。対象施設にもよりますが、サウンディング調査を実施するための事前調査なので、事業者提供すべき情報を把握・整理すべきと考えます。後述にある課題を明確化するためという目的との関連性が希薄です。
- ※ 問題の公共施設は限定しても良いと思います。例えば、子育て施設、公園、空き家、公的不動産などが考えられます。

| | | | | | | | | | |
|---|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| (2) インセンティブの検討 | | | | | | | | | |
| 民間事業者の参加意欲を増進させるためのインセンティブを検討する。検討にあたり、先行事例の実施要領等から直接的・間接的効果のあるインセンティブを整理する。また、サウンディング時の公平性を確保しつつ、民間事業者に求める負担や収益性に応じたインセンティブを検討④する。 | | | | | | | | | |

●答案用紙の解答欄の枠内に記載した解答のみ採点対象とします。

24字×25字

○解答欄の記入は、1マスにつき1文字とすること。なお、英字・数字は1マスに2文字を目安とする。

④ これは、実際に事業者を募集する際の検討事項ではありませんか。サウンディング調査に参加してもらうためのインセンティブを説明しましょう。例えば、直接的なものは選定時の評価で観点する、間接的なものは早期に情報が整理できるといった具合です。これらを事業者選定の公平性、共創性などに照らし、サウンディング調査参加のご褒美（インセンティブ）を検討するという流れだと思います。

2. 業務を進める手順と留意点、工夫点

(1) 実施要領の作成および公表

サウンディング調査の実施要領を作成し、地方公共団体のHP等で公表する。実施要領については、民間事業者へ求める資料が膨大であると⑤、サウンディングへの参加意欲を減少させるため、資料作成等の要求は最小限度とし負担を軽減することに留意する。

⑤ 参加意欲に対し留意することは、とても良いことだと考えます。その留意事項の例示として、資料が膨大は違和感があります。それなりの事業規模ですと資料はどうしても増加してしまい、収益が見込めれば資料の多寡に関係なく事業者は参加するのではないのでしょうか。意欲に関することは、前述でインセンティブの検討をしているので、これを記述してはいかがでしょうか。また、同様に調査項目にあった地域課題の取り扱いについても、記述するとよいでしょう。

(2) 現地見学会・説明会の開催

より実情に即した提案を求めるため、事業対象の詳細な現況を民間事業者に確認してもらう。実施にあたっては、参加者間の情報交換を避けるために参加者が顔を合わせないよう個別に実施することに留意⑥する。

○解答欄の記入は、1マスにつき1文字とすること。なお、英字・数字は1マスに2文字を目安とする。

⑥ サウンディング調査の手引きでは「現地見学会・説明会等の実施にあたっては、その目的により、参加者が一堂に会して実施することにより事業推進のパートナーを発見する場とする場合や、参加者間の情報交換を避けるために参加者が顔を合わせないようなスケジュールを組む場合などがあり、事案に応じて実施方法を検討することが必要である。」とあります。つまり、留意点は、透明性公平性の確保といった表現が望まれます（記述の内調は、間違いではないのですが実務よりなので、主旨も書いた方がいいですね）。

(3) 対話の申し込み受付

サウンディングへの参加を希望する民間事業者から、エントリーシート^①の提出を受け付ける。

(3) 提案書等資料の提出

エントリーした民間事業者に対して、提案書類の提出を求める。提出資料は、具体的な考えを共有するため イメージパスや収支シミュレーションを含める等の工夫を行う ⑦。

⑦ 手引きには「詳細な提案書等の検討・作成は民間事業者の負担となるため、求める内容には留意が必要である。」とあります。募集時には、これらを求めることは良いと思いますが、サウンディング調査時点においては、手引きの通り留意が必要です。

(4) サウンディングの実施

サウンディングにエントリーした民間事業者と、対面による対話を実施する。実施にあたっては、提案のイメージがより共有できるよう、事業対象となる現地で実施する等の工夫を行う。また、民間事業者のアイデアやノウハウを保護するため、個別に実施するこ

○解答欄の記入は、1マスにつき1文字とすること。なお、英字・数字は1マスに2文字を目安とする。

とに留意する。

(5) 結果の公表

対話によって得られた意見等に基づき、結果の概要を作成し、地方公共団体のホームページ等で公表する。

3 . 調整方策

行政関係者や民間事業者に対しては、客観的な情報に基づく対話を行う。施設利用者に対しては一方的な情報提供だけでなく、ワークショップやパブリックコメント⑧を通じて、意見交換を行い調整する。以上

⑧ この部分では、住民との調整に関する記述していますが、ステップでは住民参加が必要とされる場面がありません。サウンディング調査の場合は調整事項が少なく、登場人物も行政と事業者しかいないので記述が難しいですね。手引きでは、地域プラットフォームの活用に関する記述があるので、これを効果的な調整方法として記述すると良いのではないのでしょうか。

※地域プラットフォームとは、地域の企業、金融機関、地方公共団体等が集まり、PPP/PFI 事業のノウハウ習得と案件形成能力の向上を図り、具体的な PPP/PFI 案件の形成を目指す取組である。官民対話を進める際に、地域プラットフォームを活用しながら、具体的な案件を検討することも効果的である。また、内閣府と国土交通省が実施しているブロックプラットフォームにおいてもサウンディングを実施しているので、活用されたい。(手引きより抜粋)